

# さけ・ます漁業振興事業調査（サケ関係）

（抄 録）

菊 谷 尚 久

## 沿岸漁獲調査

1. 1998年漁期の沿岸回帰サケ親魚の旬別の沿岸漁獲量を集計した。
2. 1998年漁期の各海域での漁獲尾数は、太平洋1,121,845尾、津軽海峡293,155尾、陸奥湾内7,430尾、日本海46,473尾であり陸奥湾内以外の海域では前年を下回った。来遊資源としては、各海域とも1984年以降の最低水準であった。

## 沿岸環境調査（太平洋におけるサケ回帰親魚の環境調査）

1. 1998年9月から12月の期間中、試験船「開運丸」によるCTD観測を実施した。
2. 1998年の青森県太平洋側沿岸域の秋季の海況条件を1997年と比較すると、津軽暖流の勢力が特に離岸40マイル以遠において強勢であり、親潮系水の張り出しは非常に少なかったものと考えられた。

## 移動分布調査

1. 1998年4月から5月にかけて、青森県日本海、津軽海峡沿岸及び陸奥湾口部において、サケ幼稚魚の分布、成長及び移動に関する調査を行った。
2. サケ幼稚魚は、小泊沖593尾、今別沖434尾、佐井沖152尾の合計1,179尾を採集した。鱒ヶ沢沖、脇野沢沖ではサケ幼稚魚は採集されなかった。
3. 各海域で採集されたサケ幼稚魚の平均尾叉長は、小泊沖59.0～70.3mm、今別沖50.7～77.4mm、佐井沖60.4～71.8mmの範囲にあった。
4. 標識放流は1998年3月30日に、L群153,011尾（FL66.6mm）、S群144,620尾（FL48.9mm）を赤石川サケ・マスふ化場より行った。再捕尾数は、L群36尾、S群29尾であり、海域別では、小泊沖64尾、今別沖1尾であった。
5. 日本海沿岸域におけるサケ稚魚の移動生態と体サイズとの関係が明らかとなった。

## 環境調査（日本海における放流稚魚の環境調査）

1. 1998年3月から5月にかけて、鱒ヶ沢町における毎日の表面水温及び塩分を測定した。また、県内6ヶ所（大戸瀬、赤石、鱒ヶ沢、十三、小泊、佐井）の地先に記録式MDS水温計を設置し、表層水温を連続して観測した。
2. 鱒ヶ沢における表面水温は、4月上旬までは昨年並みであったものの、4月中旬以降1.0～3.0℃ほど高めに推移しており、最近の4ヶ年では最も高い傾向にあった。
3. 大戸瀬地先における日平均表層水温は、4月中旬までは昨年値±0.5℃程度で推移しており、それ以降では昨年を1.0～2.5℃程上回って推移していた。
4. 日本海側5ヶ所の表層水温はおおむね同様の昇温傾向を示しており、このことから青森県日本海側沿岸の表面水温はほぼ一律に昇温することが示された。